



株式会社

ドン・キホーテ
Don Quijote Co.,Ltd.

ひと目でわかる

2012年6月期 中間決算

時流対応力で様々な顧客層からの支持を獲得

大震災の発生以降に激変した消費行動の下で、タイムリーな商品構成・価格設定など適切な時流対応力を大いに発揮。ファミリー向けのMEGAドン・キホーテも商圈内競争力をますます高め、主力のドン・キホーテと共に女性を中心とする新規のお客さま層からも高い支持をいただき、第2四半期累計期間(中間決算)において過去最高益を更新いたしました。

売上高

2,769
億円

日用雑貨品などの生活必需品を中心にお客さまの消費マインドの変化に柔軟に対応し、女性客を中心とした新しい顧客層からの支持率向上と地方店舗の好調さが寄与した結果、売上高は2,769億円(前期比8.4%増)となりました。

営業利益

172
億円

お客さまの購買意識の変化を適切に反映する柔軟性と機動性を発揮した営業力と、きめ細やかな「コストマネジメント」により、営業利益は172億円(同21.3%増)となりました。

経常利益

165
億円

営業外損益収支戻は8億円のマイナスとなったものの、営業増益効果で、経常利益は165億円(同17.2%増)となりました。

当期純利益

119
億円

特別利益として更正債権弁済益18億円などを計上した結果、四半期純利益は119億円(同58.1%増)と過去最高益で着地しました。

総資産

3,801
億円

販売好調に伴う商品在庫高の増加、フィデック業績拡大に伴う買取債権、並びに出店に伴う有形固定資産の増加などから、総資産は3,801億円(前期末比388億円増)となりました。

純資産

1,372
億円

利益剰余金の積み増しなどにより、純資産は1,372億円(同119億円増)となりました。なお、自己資本比率は35.5%となりました。

EPS

154.90
円

1株当たり当期純利益(EPS)は、第2四半期累計期間(中間決算)における過去最高益を更新したことから、154.90円(同52.87円増、51.8%増)となりました。

ROE

18.4
%

自己資本当期純利益率(ROE)は18.4%となりました。

お買上客数

ドン・キホーテ店
11,860
万人

当社グループ各店舗をご利用いただきましたお客さま(レジ通過客数)は、半年間で1億1,860万人(同994万人増)となりました。

店舗数

235
店

新規出店はドン・キホーテ5店、MEGA2店、エッセンス1店の合計8店を実施。グループ全体の店舗数は国内38都道府県232店舗、米国ハワイ州の3店舗を含めると235店舗となりました。

売場面積

662,614
㎡

2011年12月末時点の売場面積は、新規出店などにより、2011年6月末と比較して24,747㎡増加し、662,614㎡(3.9%増)となりました。

中間配当金

10
円

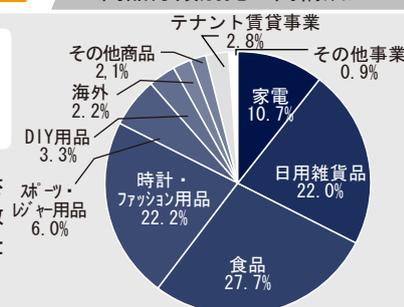
中間配当は、1株当たり10円を実施いたしました。なお、中間配当を含めた年間配当は1株当たり28円を予定しています。

商品点数

66,085
万点

当社グループが当期間にお客さまの手許にお届けした商品点数は、66,085万点(国内のみ)となりました。

商品分類別売上高構成比



株主数

4,122
名

株主数は前期末に比べて420名減少し、4,122名となりましたが、外国人株主の保有比率は過半数を超えて55.1%となりました。

株主分類別持株数構成比

